

福祉サービス第三者評価結果

事業所名 伊勢原市 比々多保育園

発効：平成28年3月30日（平成31年3月29日まで有効）

公益社団法人神奈川県社会福祉士会

公益社団法人神奈川県社会福祉士会 第三者評価結果

事業所基本事項

フリガナ	イセハラシ ヒビタホイクエン
事業所名 (正式名称を記載)	伊勢原市 比々多保育園
事業所種別	保育所
事業所住所 最寄駅	〒259 - 1104 伊勢原市坪ノ内 80-1 小田急線 鶴巻温泉駅下車 車で 10 分
事業所電話番号	0463-93-1390
事業所 FAX 番号	0463-95-4448
事業所代表者名	役職名 園 長 氏 名 佐藤千鶴子
法人名及び 法人代表者名	法 人 名 社会福祉法人 光が丘福祉会 法人代表者氏名 理事長 井田喜美子
URL	
e-mail	hibita1@circus.ocn.ne.jp
問合せ対応時間	8:30 ~17:30

事業所の概要 1

開設年月日	昭和 49 年 4 月 1 日 (平成 24 年度より伊勢原市から指定管理受託)
定員数	120 名
都市計画法上の用途地域	
建物構造	鉄筋コンクリート造 2 階建
面積	敷地面積 (2,615) m ² 延床面積 (1,134) m ²

事業所の概要 2 (職員の概要)

総職員数	34 名
うち、次の職種に該当する職員数	園 長 (1 名) 保育士 (25 名) 保健師・看護師 (0 名) 栄養士 (1 名) その他 (事務員 2 名、調理員 6 名)

事業所の概要 3 (受入・利用可能サービスの概要)

受入年齢	生後 5 ヶ月～小学校就学未満	
延長保育の実施	有 ・ 無	備考：平日 7:00~19:30、土 7:00~18:30
休日保育の実施	有 ・ 無	備考：
一時保育の実施	有 ・ 無	備考：一時預り保育、特定保
障害児保育の実施	有 ・ 無	備考：療育手帳保持 1 名、すこやか園通園 1 名
病後児保育の実施	有 ・ 無	備考：

保育の方針

<ul style="list-style-type: none"> ・人とのかかわりの中で、思いやりや自主性など自ら生きる力の基礎を養う ・様々な体験を通して、豊かな感受性を育て創造性の芽生えを養う
--

公益社団法人神奈川県社会福祉士会 第三者評価結果

1. 総合コメント

総合評価（優れている点、独自に取り組んでいる点、改善を要する点）

保育園の概要：

伊勢原市比々多保育園は、小田急小田原線鶴巻温泉駅から車で10分の畑が点在する住宅地にある。伊勢原市立保育園として昭和49年4月1日に開設され、1年間の移行期間を経て平成24年4月1日から、市内で保育園を運営する社会福祉法人光が丘福祉会が指定管理者として運営している。保育が行われている2階建の建物では、保育園以外に子育てひろばなど子育て支援事業も実施されており、複合施設の中で園が運営されている。定員は120名で、調査実施時点での内訳は0歳児が8名、1歳児17名、2歳児22名、3歳21名、4歳児19名、5歳児29名で、25名の保育士を含め35名の職員により運営されている。保育理念に「児童福祉法に基づき、子ども一人ひとりを大切に、保護者とともに子どもたちの健やかな成長発達を支える保育園」を掲げ、世代間、異年齢の人たちとの出会いを大切に、やさしさ思いやりのある豊かな心を育てる保育を目指している。

優れている点・独自に取り組んでいる点：

1. チーム保育の向上

指定管理者制度として運営を受託し、3年目の昨年度に福祉サービス第三者評価を受審し、職員のチームワークのもと、改善すべき点において早急に改善に努めることができています。今年度改めて福祉サービス第三者評価を受けるにあたり、昨年度とは別の職員が担うことで、前回担当した職員と相互に協力し準備に取り組んだ。指定管理者制度の下での運営4年目となるが、市が直接運営していた時からの職員、法人として受託し異動した職員、新たに採用された職員によるチームワークを工夫し、クラス担任以外の保育士であっても子どもたちの名前や様子を把握するよう努めるなど、質の高い保育を生み出している。

2. 「子どもが輝ける保育」の実践

「子どもが輝ける保育」の方針のもと、職員が先走って行動したり声掛けするのではなく、子どもの力を信じその様子に目配りしながら、子どもが考えて行動する力を育てる保育を実践している。保育士1人1人の丁寧な関わりを通じた保育が大切であることを、日々の保育の場面や個別の職員面接などを通じて周知し実践している。その保育の視点により、職員のモチベーション向上につながっている。

3. 建物の特徴を活かした運営

クラス毎に仕切られ独立した保育室で保育が行われているが、建物の構造が工夫されており、採光や換気が行き届いている。また、お持ち帰りの手荷物とタオルなど汚れ物を置く場所それぞれが、園児ごとに保育室と廊下の両面から出し入れできる構造となっており、保育室に入らなくても廊下側から荷物を取り出せるなど工夫されている。子育て支援事業なども行っている複合施設で、誰もが使えるよう清掃がなされている。また、児童コミュニティークラブに集う卒園時と園児が自然に触れ合えるようになっている。

4. 外部評価の活用

昨年度の福祉サービス第三者評価受審において指摘されて事項について、工夫し対応がなされている。複合施設故の制約の中で園舎まわりに保育園である事がわかる看板やお知らせボード等が無かったが、掲示など工夫し対応がされている。また、書式が整っていなかった会議録や報告書及び一部のマニュアルについても、書式が整備され内容の充実、またマニュアルの整備がはかられている。

改善を要する点：

1. 行事の伝達

外国籍の子どもを受け入れ、ひらがなや絵で伝達内容を掲示するなど工夫が見られる。しかし、特に行事については口頭での説明が多く、家族への伝達が十分でない様子が見うけられる。口頭で充分理解できなくても、後で確認できるよう個別に手渡せる印刷物を工夫するなど、今後の努力が期待される。

2. 研修報告書の整備

研修参加後の資料や情報交換はされているが、研修内容についての報告書が作成されていない

場合が一部作成されていないものがある。報告書は、研修内容を保育の場面などに活かし、また次年度の研修計画を立案する上で大切であり、今後の工夫と努力が期待される。

3. ケガ・事故記録簿の活用
 ケガ・事故記録簿は作成されているが、報告書を作成する事が目的になってしまっている印象を受ける。ケガ・事故記録簿は、保育を実践する上での注意喚起、意識改善につながり、結果的に再発防止に至るものなので、些細な事柄でもヒヤリ報告をするなど実効性のある取り組みの工夫が期待される。

評価領域ごとの特記事項		
1	人権への配慮	①保育士としての姿、子どもや保護者への接し方、言葉使いなど「接遇チェックシート」を作成し、改善すべき点や反省点について職員会議やクラス会議で話し合い確認している。また、虐待防止は、通報内容を記録し、地域関係機関団体と援助チームを活用し、検討会を重ね終結まで連携を図っている。外国籍の保護者とは母国語での挨拶を心がけ関係構築を図っている。また、年間行事や献立表に仮名を振り、お知らせは個別に絵や写真付きで掲示するなど工夫している。 ②法人として「個人情報保護規程保育所保育指針」を定め、個人情報の保護を図っている。また、市子ども育成課や障害福祉課と連携を図り情報の共有と保護に努めている。 ③実習生やボランティア、見学者の受け入れにあたっては守秘義務及びプライバシー保護について誓約書を作成している。保護者には園日より各クラスのお知らせボードにて見学者受入れを伝えている。
2	利用者の意思・可能性を尊重した自立生活支援	①保育所保育指針を全職員に所持してもらい、日頃から手元において日々の保育に活用している。 ②各クラスの懇談会や個人面談で出された意見については各クラスでまとめ、職員会議で全体に報告し共有している。個人面談で気になる子どもについてはクラスごとに一覧表を作成し、相談内容や育ちについて明記し全体で把握するとともに、関係機関との連携も図っている。 ③保護者からの意見や要望に対しては「ご意見・ご要望・相談記録カード」を作成して把握に努めている。
3	サービスマネジメントシステムの確立	①苦情については、「ご意見・ご要望の解決のしくみについて」で窓口を明記し、神奈川保育全保育園利用者相談室に第三者委員の機能を利用している。受け付けた苦情は「ご意見・ご要望・相談カード」に記入している。また、ケガ・事故記録簿も作成して事故防止に努めている。 ②マニュアルに沿って快適な室内環境を整えている。薬品や備品、日用品について在庫を確認して管理している。また、危険物については「危険物保管状況」に沿って1日の最後に所定の位置にあることを確認している。玩具、タオル、砂場の消毒や除菌、遊具の点検は、担当を設け定期的に管理している。 ③各クラスで健康記録票を活用して体調不良児や与薬の管理などを行っている。感染症予防の情報収集や提供手順について「感染症情報報告・提供手順フローチャート」で確認している。また、各クラスに「感染ノート」があり、感染が把握できた場合は市へ報告している。また医師会から感染情報が提供され連携を図っている。 ④緊急時の連絡指示・避難等は「自然発生時の危機管理マニュアル」に沿って対応し月1回避難訓練を行っている。また、年2回児童コミュニティセンターと合同避難訓練を実施している。防災マニュアルのなかに「不審者侵入対応のフローチャート」がある。災害時の専門機関としての地域対応について、災害時は園内に窓口を設置し、園長、主任若しくは年長リーダーが複数で対応するとの市との取り決めがある。
4	地域との交流・連携	①市の子育て支援センター事業として、園内の子育てひろばで「つどいの広場～なかよしルーム～」を実施している。

		②一時預かり事業を行っており、今年度から余裕活動型でクラスにて対応している。 ③園庭開放、夏まつりや運動会など行事への招待などで地域との交流を図っている。地域教育機関連絡協議会は年4回開催され、情報交換を行っている。
5	運営上の透明性の確保と継続性	①職員全員が年に2回自己評価を実施し、年に1回は個人面談の機会を設けている。自己評価結果を皆で話し合い、改善に向けた取り組みをしている。今年度はおやつ品質管理のために給食室職員と保育士でダブルチェックを実施している。 ②複合施設であるが、正面玄関に保育園の掲示をしている。今後は2階のベランダや窓ガラスに掲示を予定している。また、園だよりを、運営委員である主任児童委員、保護者代表、市代表や地域の交番、郵便局、農協、小学校に配布している。 ③保育参観や誕生会を兼ねた試食会を開催し、保護者が保育の様子を見る機会を設けて、保護者からの意見や要望を把握している。
6	職員の資質向上促進	①「保育理念・保育方針・保育目標」に基づき、子どもが輝ける保育を心がけている。職員が先走って行動したり声掛けするのではなく、一人一人の子どもを観察して余裕を持った対応を心がけて、叱り方1つとっても丁寧な関わりを目指している。日々の保育の中で園長を中心に伝えている。また、保育課題については年度はじめに見直しをはかり、職員会議で周知している。 ②研修は皆が年に1～2回参加できるよう年間で計画している。救命救急研修には年間4名が参加している。土曜日の夜に開催されるアレルギー研修について、全員から参加希望があるなど研修意欲が高い。外部研修に参加した後は、全員で情報の共有を図っている。 ③実習生の受け入れについては市が年間計画を作成している。マニュアルを作成し、実習生の受け入れ、業務分担、実習担当表を設けている。

2. 評価項目に基づく評価の結果

大項目1 保育環境の整備

評価機関が定めた評価項目に添って、調査を行った結果です

大項目1全体（調査確認事項全80事項）を通してのサービスの達成状況	100%
-----------------------------------	------

大項目1の内容(概要)

1	人権の尊重	子どもや保護者に対する態度や言葉遣い 出生や国籍、性差などによる差別の禁止 子どもの虐待予防や早期発見のための地域の関係機関・団体との連携
2	プライバシー確保	プライバシー確保への配慮 個人情報保護の体制整備
3	家庭と保育園との信頼関係の確立	家庭との連絡、情報交換の体制 家庭の意向・希望の把握
4	苦情解決システム	苦情解決の体制整備
5	環境整備	温度や湿度等の管理 洗剤等の危険物の管理 おもちゃ、遊具等の管理
6	健康管理(感染症対策・救急救命を含む)	体調不良児、けがへの対応 感染症への対応 救急事態発生時の医療機関・家族等との連携
7	危機管理(防災・防犯)	火災や震災等の対応

		日常の防災・防犯体制の整備
8	地域の子育て支援	地域内の子育てニーズの把握と支援
9	自己評価と情報開示	自己点検・改善活動の実施
		地域への情報提供、情報開示
		見学や保育参観の機会の設定
10	職員研修	職員研修の実施
		実習生の受入れ、指導

大項目 2 保育内容の充実

事業所から自己申告された内容について、事実確認を行った結果です

項目	事業所による取り組みのアピール (事業所が記載した原文のまま公表しています)	第三者評価での確認点
<p>子どもと保育士とのかかわりにおいて、子どもの情緒の安定をはかることや、順調な発育・発達を促すためにどのような取り組みをしていますか</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1.子どもの気持ちを十分に受け止め、個々に対応し安心感をもって生活できるようにする。 2.未満児クラスでは、月に一回専門の講師によるふれあいあそびに参加し、情緒の安定を図っている。 3.保育士と触れ合うことで信頼関係を築き甘えや欲求を満たせるように接している。 	<ol style="list-style-type: none"> 1.抱っこなどを通じて、子どもの気持ちを受け止めている様子を「平成 27 年 4 月保育計画」「0 歳児週案・保育日誌」で確認した。子どもの気持ちを受け安心して過ごせるよう、保育士が 1 対 1 で対応している様子を確認した。 2.園児が、専門講師によるふれあいあそびでリラックスした表情で参加している様子を、「ふれあいあそび活動記録」で確認した。 3.甘えや欲求を満たせるよう保育士がゆっくりと関わり落ち着いた様子を、「0 歳児週案・保育日誌」で確認した。昼食や午睡場面で、子どもの気持ちを受け止め 1 対 1 で対応している様子を確認した。
<p>子ども同士のかかわりにおいて、個の違いを認めあうことや他者と自分を大切にすることを育てるためにどのような取り組みをしていますか</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1.友だちと一緒に活動する中で、互いを励まし合い、意識をもてるような活動の場を設けている。 2.自分の経験や気持ちを発表したり聞いたりする中で、他者の気持ちを知りみとめあえるようにしている。 3.保育士や他児の関わりの中で色々な気持ちを感じ、友だちを大切にすることを育てている。 	<ol style="list-style-type: none"> 1.朝のリレーで、互いを励まし合っている様子を「5 歳児週案・保育日誌」で確認した。生活発表会に向けて練習し、お互い頑張った様子に拍手を送っている様子を確認した。 2.夏休みの体験を発表したり、他の園児の話を聞いて拍手したりしている様子を、「5 歳児週案・保育日誌」で確認した。昼食中に子どもどうしがおかわりしたい気持ちを代弁しあっている様子を確認した。 3.子ども同士で着替えを手伝い「ありがとう」とやりとりし他児の気持ちを感じている様子を「5 歳児週案・保育日誌」で確認した。子ども同士がぶつかり、保育士が代弁しながら子どもの気持ちを補っている様子を確認した。
<p>子どもと社会とのかかわりにおいて、人に役立つことの喜びを感じたり、人と関わることの楽しさを味わうことができるようにするためにどのような取り組みをしていますか</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1.わくわくデー（異年齢児保育）のハロウィンでは全園児で散歩に出かけ、近隣の歯科や商店などに寄り「お菓子をくれないといたずらしちゃうぞ」とやりとりを楽しみ、お菓子をもらったりしている。この日、家からマントや帽子など仮装をしてくる児もいる。 2.夏まつり前には 5 歳児全員がポスターを作り、近隣の小学校や郵便局、等に貼りに行っている。事前に保育園からは連絡を入れず、子ども達がその場でお願いをする。 3.どんど焼きの日には、民生委員の方たちがだんごを作って持ってきてくれ、保育園で園児と一緒に飾り付けを行なう。飾り付け終了後は、5 歳児が肩たたきをしたりふれあい遊び（手遊び）をして交流 	<ol style="list-style-type: none"> 1.わくわくデー（異年齢児保育）としてハロウィンを捉え、全園児で散歩に出かけ、近隣の歯科や商店などに寄っている様子、仮装をして近隣の人と触れ合っている様子を、「行動計画表」「平成 27 年度ハロウィンの様子(写真)」で確認した。 2.夏まつり前に 5 歳児がポスターを作り、近隣の小学校や JA 等にポスター貼りをお願いしている様子を「5 歳児週案・保育日誌」で確認した。 3.どんど焼きの日には、民生委員・児童委員の方たちが園児と一緒に飾り付けを行なっている様子を、「どんど焼き・だんご飾り 行事計画表（平成 27 年 1 月 13 日）」で確認した。どんど焼きを見学しお飾りの投げ入れをしている様子を、「行事計画表」で確認した。

項目	事業所による取り組みのアピール (事業所が記載した原文のまま公表しています)	第三者評価での確認点
	<p>を持つ。最初は緊張気味の児も徐々に打ちとけ笑顔になる様子が見られる。</p>	
<p>生活や遊びなどを通して、言葉のやりとりを楽しめるようにするためにどのような取り組みをしていますか</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 手遊びや言葉あそびを取り入れ、保育士や友だちの関りを多く持ち楽しめている。 2. 生活や遊びの中で、保育士の言葉を真似たり、言葉を覚えたりし、使う楽しさを味わえるようにしている。 3. あいさつ運動を基に日常生活の中でも、子どもたちが進んで挨拶できるようにしている。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 手遊びや言葉あそびを取り入れ言葉のやりとりを楽しんでいる様子を、「平成 27 年度 6 月保育計画」で確認した。昼食の前の時間に、保育士が言葉の面白さを伝えながら絵本を読み聞かせている様子を確認した。 2. 保育士の言葉を繰り返したり発したり、言葉を使う事を喜んでいる様子を、「個人別配慮(2 歳児たんぼぼ組)」で確認した。生活発表会の出し物練習を保育士が褒めると、声を発しながら応えている様子を確認した。 3. あいさつ運動で、保育士の声掛けで挨拶を交わし合っている様子を、「平成 27 年度 8 月保育計画」「5 歳児週案・保育日誌」で確認した。当番さんの挨拶で「いただきます」と大きな声で食事を開始する様子を確認した。

項目	事業所による取り組みのアピール (事業所が記載した原文のまま公表しています)	第三者評価での確認点
<p>生活や遊びなどを通して、話すこと・聞くことが楽しめることや言葉の感覚が豊かになること、自分の伝えたいことが相手に伝わる喜びを味わうことができるようにするためにどのような取り組みをしていますか</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 絵本や紙芝居を通して、聞くことを楽しみ、言葉のおもしろさを味わえるようにしている。 2. 3 歳児以上児クラスでは、インタビューごっこを取り入れ、自分の気持ちを言葉に表わすことや聞いてもらう喜びを経験できるようにしている。 3. 子どものしてほしいこと、したいことを聞き入れ、言葉を補足したり代弁したりして相手に伝わる心地よさを感じられるようにしている。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 子どもの名前を逆さに読んで逆さ言葉を楽しんでいる様子を、「4 歳児週案・保育日誌」で確認した。午睡の前の時間に、静かに子どもたちの表情を確認しながら、絵本を読み聞かせている様子を確認した。 2. インタビューごっこで夏休みの事を一人一人発表している様子を、「3 歳児週案・保育日誌」で確認した。 3. 保育士が言葉を補ったり代弁する中で、園児が真似して言ったり、言葉を使えるようにしようとする様子を、「個人別配慮」で確認した。園児同士がぶつかってしまった場面で、保育士が 2 人の気持ちを代弁しながら子どもの気持ちを補っている様子を確認した。
<p>生活や遊びなどを通して、楽しんで表現することができるようにすることや表現したい気持ちを育むためにどのような取り組みをしていますか</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 生活の中で色々な素材や用具を使ってイメージしたものを作る楽しさを味わえるようにしている。 2. 音楽を聴き、個々に想像を膨らませ自由に動きが表現できるような活動を取り入れている。 3. 子どもの吹きや仕草に共感し、気持ちを代弁し、十分に自分の思いを出せるようにしている。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 様々な用具を使い自分を表現する様子を、「5 歳児週案・保育日誌」で確認した。粘土で思いおもいに作品を作り、お互い見せ合っている様子を確認した。 2. 園児自身が自由に踊りきって満足する様子を、「3 歳児週案・保育日誌」「5 歳児週案・保育日誌」で確認した。生活発表会での出し物である遊戯を、保育士のオルガンに合わせて笑顔で練習している様子を確認した。 3. 0 歳児が指さしているのを「すべり台やりたいの？」と代弁し園児が喜ぶ様子を、「0 歳児週案・保育日誌」で確認した。昼食時にゆっくりとおかずを食べている園児に「ずいぶん食べたね」「食べられるようになったね」と気持ちに寄り添っている様子を確認した。

項目	事業所による取り組みのアピール (事業所が記載した原文のまま公表しています)	第三者評価での確認点
<p>生活や遊びなどを通して、自発的に表現する意欲を育むことやみんなで一緒に表現する喜びを味わえるようにすること、創造的に表現することができるようにするためにどのような取り組みをしていますか</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 遊びに必要な玩具を用意し、保育士や友だちとの遊びの幅が広がるような環境づくりをしている。 2. クラスで協力し、ひとつのことをやり遂げられる喜びを皆で共感し、次の自信につなげられるようにしている。 3. 日々の活動の中で、粘土や積木など様々な素材に触れ、作る楽しさを味わえるようにしている。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 机に紙をひろげ、クレヨンで思いっきり腕を動かして描いている様子を、「5歳児週案・保育日誌」で確認した。ブロックや粘土が準備されている事を確認した。 2. 夏祭りの練習で、子ども同士が声を掛け合いながら、おみこしを担っている様子を、「5歳児週案・保育日誌」で確認した。生活発表会での出し物の練習を順番にするなかで、お互い拍手したりしている様子を確認した。 3. 「粘土楽しいね」と喜んで作った製作品を皆の前で発表している様子を、「4歳児週案・保育日誌」で確認した。粘土で思いおもいに作品を作り、見せ合っている様子を確認した。
<p>生活や遊びなどを通して、聞く・見るなど感覚の働きを豊かにすることや身体を動かす楽しさを味わうこと、身近なものに対する興味や関心を引き出すためにどのような取り組みをしていますか</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 生活の中で、子どもたちが音楽に親しめるような環境づくりを心がけている。 2. 月に1回専門の講師を招き全身を使った運動遊びの場を設けている。 3. 絵本やペープサート、パネルシアター等を楽しみながら様々な物事への興味関心を広げている。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 朝、音楽に合わせて楽しそうに体を動かす様子を、「1歳児週案・保育日誌」で確認した。保育士のオルガンに合わせて、子どもたちが笑顔で体を動かす様子を確認した。 2. 体育教室で、園児がマットや跳び箱など全身で楽しんでいる様子を、「体育教室指導計画表」「3歳児週案・保育日誌」で確認した。 3. ペープサートで歯について学んだ後、歯科検診を受けている様子を、「5歳児週案」で確認した。歯に限らず様々なパネルシアターや絵本、紙芝居が、いつでも用いることができるよう用意されている事を確認した。
<p>生活や遊びなどを通して、身近な様々なものに対する探索意欲を満足させることや社会や自然の事象や、動植物への興味や関心をもてるようにするためにどのような取り組みをしていますか</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 図鑑をもって散歩に行き、子どもの疑問や関心にその場で対応し発見した喜びを味わえるようにしている。 2. 水あそびや自然あそびの中で、子どもの小さな気づきや発見を大切に、遊びが広がるよう環境を整えている。 3. 園で育てている植物や野菜は、目の届きやすいところに置き、皆が生長に気づけるようにしている。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 散歩で虫や草花をみつけ持参した図鑑で調べ喜ぶ様子を、「5歳児週案・保育日誌」で確認した。散歩に持参している図鑑が数冊準備されている事を確認した。 2. 水あそびで色水をつくり、ジュース屋さんごっこで遊んでいる様子を、「2歳児週案・保育日誌」「3歳児週案・保育日誌」で確認した。保育園が自然に恵まれている環境にある事を確認した。 3. ミニトマトや枝豆、ゴーヤを栽培し収穫して喜んでいる様子、収穫したミニトマトやキュウリを自宅に持ち帰っている様子を、「野菜観察ノート」「4歳児週案・保育日誌」で確認した。保育室脇に畑がある事を確認した。
<p>自分から食べようとする意欲を育んだり、排泄をしようとする意欲を育むためにどのような取り組みをしていますか</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. ペープサートを用いて色々な食材を知り、食に対する関心を持てるようにしている。 2. 「おいしいね」など声掛けを行い食べることの楽しさが実感できるような雰囲気づくりを心がけている。 3. 排泄面については、興味のあるものを利用し、トイレに行きやすい環境を作っている。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 食育のパネルシアターやペープサートを用いて歌いながら楽しんで学んでいる様子を、「1歳児週案・保育日誌」「3歳児週案・保育日誌」で確認した。食に関するペープサートが数種類用意されている事を確認した。 2. 食べる事ができた時は「すごいね」と声掛けし食が進んでいる様子を、「個人別配慮」で確認した。昼食時に保育士が「おいしいね」と声をかけながら楽しく食べる雰囲気作りを心がけている様子を確認した。 3. 子どもの好きなキャラクターを貼るなど、安心してトイレに行き排泄出来るよう工夫している様子を、「トイレに行きやすい環境づくり

項目	事業所による取り組みのアピール (事業所が記載した原文のまま公表しています)	第三者評価での確認点
		(写真)」及び実際の様子で確認した。
<p>身の回りのことを自分でしようとする意欲を育むことや基本的な生活習慣を身につけること、食事や休息の大切さを理解することができるようにするためにどのような取り組みをしていますか</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1.身の回りのことに、興味を持ち子どもの自分でやろうという気持ちを大切に、見守り必要に応じた援助を行う。 2.手洗いやうがい等の生活習慣が身につくような紙芝居や絵本を見せたり子どもの見やすいところに手洗いの仕方を掲示している。 3.体を動かした後は、水分補給や休憩をし、静と動のバランスをとるようにしている。 	<ol style="list-style-type: none"> 1.保育士の声掛けでスムーズに上着の着脱を行おうとしている様子を、「個人別配慮」で確認した。午睡時に、保育士が声掛けし褒めながら、自分で着替えようとする気持ちに寄り添っている様子を確認した。 2.手洗いの紙芝居を見てできていなかった事に気づいた表情を、「5歳児週案・保育日誌」「生活習慣手洗い5歳児ひまわり組(写真)」で確認した。子どもの見やすいところに手洗いの仕方を掲示している事を確認した。 3.休息の大切さを伝え、子ども同士「喉が渴いたらお茶を飲むんだよ」と教えあっている様子を、「5歳児週案・保育日誌」で確認した。午睡の時間に、保育士が「ゆっくりしようね」と声掛けしている様子を確認した。

大項目3 保育園の特徴

事業所から自己申告された内容について、事実確認を行った結果です

項目	事業所による特徴的取り組みのアピール (事業所が記載した原文のまま公表しています)	第三者評価での確認点
<p>子どもの豊かな心と身体をはぐむための特徴的な取り組みについて説明してください</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1.月1回の体育教室・音楽教室・ふれあいあそび・お茶会体験を行っている。 2.午睡前 素話をし、子どもの想像力を育てている。 3.野菜の栽培・収穫を体験したり、全園児が野菜の生長を観察できるようにし、食への興味関心を育てている。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 体育教室・音楽教室・ふれあい遊びの様子を「5歳児 週案・保育日誌」「ふれあい遊び」で確認した。お茶会体験の様子を、「お茶体験活動記録」及び写真で確認した。お茶会体験で使用しているふれあいルームを確認した。 2. 午睡前に素話をし、子ども個々にイメージを膨らませている様子、「5歳児週案・保育日誌」及び写真で確認した。 3. ミニトマトや枝豆を栽培し収穫して喜んでいる様子、「野菜観察ノー（平成27年度 ひまわり組）」で確認した。じゃがいもの芽など観察している様子、「野菜観察ノー（平成27年度）ひまわり組）」で確認した。保育園が畑が点在する環境にある事を確認した。また、保育室脇に畑がある事を確認した。
<p>保育環境に特別な配慮を必要とする子ども(長時間保育、障害児保育、乳児保育、外国籍園児)の保育に関しての特徴的な取り組みについて説明してください</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1.日本語が分からない児のために、母国語の表を作り子どもとのコミュニケーションが円滑になるようにしている。 2.延長保育では、年齢に応じて場所や部屋を分け落ち着いて過ごせるよう環境づくりをしている。 3.0歳児クラスでは、子どもの成長や動きに合わせてサークルの広さや形を変えている。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 日本語が分からない園児のため作った母国語の表を、「母国語の表（ベトナム語）」で確認した。外国籍の子どもが、母国語の表が必要なくなり普通に保育士と会話している様子を確認した。 2. 延長保育で、年齢に応じて環境を工夫している事を、「延長保育活動記録」で確認した。17時から2歳未満児が一時保育室で、2歳以上児が3歳児クラスに分かれて延長保育している様子を確認した。 3.0歳児クラスで、子どもの成長や動きに合わせてサークルの広さや形を変えている事を、「あらかると」で確認した。プラスチック柵で、成長に合わせてサークルの広さが変えられるようになっている事を確認した。
<p>健康管理に特別な配慮を必要とする子ども(アレルギー疾患をもつ園児、乳児保育、病後時保育など)の保育に関しての特徴的な取り組み(アレルギー食対応、個別食、離乳食など)について説明してください</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1.アレルギー児担当の保育士が給食室職員から直接説明を受け、提供している。 2.アレルギー児の食事には食札カードを添え、原因食物を一目でわかるようにしている。 3.3歳児未満児のおやつや食事内容を写真で掲示し、分りやすくお知らせしている。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. アレルギー児担当の保育士が給食室職員から説明を受ける時に用いている資料を、「卵完全除去 ○○さん週間献立予定表(3歳児以上)」で確認した。卵アレルギー食について担当の職員が給食室職員から説明を受け、検査及び確認している様子を確認した。 2. アレルギー児の食札カードで、原因食物を一目でわかるようにしている事を、「アレルギー食食札カード(写真)」「アレルギー食対象児用献立表(写真)」で確認した。食札カードに原因食物が書かれている事を確認した。 3.3歳未満児のおやつや食事内容を食事内容紹介コーナーに写真で掲示している様子を確認した。
<p>食に関しての特徴的な取り組みについて説明してください</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1.月1回の栄養士による食育指導(5歳児) 2.バイキング給食 3.3大栄養素シアターを楽しみ食に興味・関心を持たせる。(未満児) 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 月1回の栄養士による食育指導の実施状況を、「食育関連(紙芝居・絵本など)クッキングなどの詳細は別紙」「5歳児週案・保育日誌」で確認した。 2. バイキング給食の実施を、「栄養指導計画

項目	事業所による特徴的取り組みのアピール (事業所が記載した原文のまま公表しています)	第三者評価での確認点
		書」の記録欄、及び「5歳児週案・保育日誌」で確認した。 3.3 大栄養素のパネルシアターを実施している様子を、「食育三大栄養素シアターを見る風景(写真)」「1歳児週案・保育日誌」で確認した。
家庭とのコミュニケーションに関する特徴的な取り組みについて説明してください	1. クラスのホワイトボードに「今月の歌」を記載したり、園だよりや連絡帳に子どもの関心がある絵本を紹介している。 2. 希望に応じて、臨床心理士との個別面談を設けている。 3. 無断欠席が続く家庭には連絡を入れ、子どもの状況を把握するようにしている。	1. 園だよりで子どもの関心がある絵本を紹介している事を、「アラカルト」で、連絡帳に子どもの関心がある絵本を紹介している事を、「0歳児育児日記」で確認した。ホワイトボードにて季節の歌を紹介している様子を確認した。 2. 市から派遣された臨床心理士との個別面談を設けている事を、「育ちの記録」で確認した。 3. 無断欠席が続く家庭には連絡を入れ状況を把握していることを、「保護者との連絡、やりとりの記録」で確認した。
地域の子育て支援に関する特徴的な取り組みについて説明してください	1. 一時保育事業を行い、育児負担軽減のための預かりも行っている。 2. 子育て支援スペース(なかよしルーム)を開放し、在園児と触れ合う機会を設けている。 3. 公民館からの依頼を受け、幼児教育家庭学級で絵本の読み聞かせや親子あそびを担当し、地域の子育て支援をしている。	1. 一時保育事業を育児負担軽減のために行っている事を、「一時預かり事業利用申請登録兼利用申請書」で確認した。一時保育を実施している様子を確認した。 2. 「つどいの広場なかよしルーム」の参加親子が在園児と触れ合っている様子を、「なかよしルーム(子育て支援スペース)様子(写真)」で確認した。「子育てひろば」に、近隣の親子が集っている様子を確認した。 3. 幼児教育家庭学級で絵本の読み聞かせや親子あそびを担当し、地域の子育て支援をしている様子を、「幼児教育家庭学級協力風景(写真)」「実践記録」で確認した。

3. 利用者への調査

～ 保護者アンケート調査を実施した結果です ～

(1) 調査の状況

調査期間	平成 27 年 7 月 27 日 ～ 平成 27 年 9 月 11 日
調査方法	所定の調査票（アンケート票）により実施した。
調査対象者の匿名化	調査は無記名で行い、調査結果から回答について個人が特定化される場合は、評価機関で匿名化を図った。
アンケート調査票の配布	対象者には事業所を經由して調査票を配布した。
アンケート調査票の回収	記入済みの調査票は対象者から直接、評価機関に郵送された。
回収の状況	調査票配布数 68 通 : 返送通数 40 通 : 回収率 58.8%

(2) 調査結果の傾向

◆アンケート調査全体の傾向

- 園の保育方針、保育内容について、「知っている」62.5%、「知らない」が37.5%となっている。
- お子さんの個別の事情（アレルギー・家庭の事情）について、「相談しやすい」52.5%、「やや相談しにくい」「相談しにくい」合わせて20.0%となっている。
- 遊具の清潔や安全面の配慮について、「配慮が感じられる」55.0%に対し、「少し心配がある」27.5%、「心配がある」15.0%となっている。
- 不審者侵入防止などの防犯対策について、「安心が感じられる」35.0%に対し、「少し心配がある」45.0%、「心配がある」17.5%となっている。
- 事故や災害時の連絡体制について、「安心が感じられる」52.5%に対し、「少し心配がある」32.5%、「心配がある」12.5%となっている。
- 園の良い点の自由意見では、主に「職員の対応」「病気の対応」「行事」などが挙げられている。「お迎えに行った時に園での様子を教えてくれる」「具合が悪い時、症状も細かく教えてくれる」「先生が皆、笑顔でいつも接してくれる」「担任の先生以外でも、子どもの名前を覚えて声を掛けてくれる」「園庭が広い、のびのび遊べている」「他の年齢との関わりが持て、下の子と接する中でいろいろなことを学べている」「いろいろなイベントや企画が多い」「伝染病の発生件数など掲示してあってわかりやすい」「先生間での情報伝達がしっかりしている」があがっていた。
- 改善して欲しい点の自由意見では、「危機管理」「病気の対応」「職員」「行事」などが挙げられている。「園の入口は誰でも入れる気がして不安がある」「感染症の流行について掲示(〇月〇病〇名など)がされているが、どのクラスで特に多いかなどが不明なため、もう少し詳しく掲示していただけるといい」「園児が多いのか、先生が少ないのか、目が届いていない様子」「午後の外遊びを増やしてほしい」「送迎時の先生との情報交換ができないことが多い」「行事の時の説明が不十分」などがあがっていた。
- その他の自由記述では、「子どもが楽しそうに保育園に行く姿を見られてとても嬉しい。」「お友達や先生との関わりがよいのだととてもありがたく思っている。」「比々多保育園に入園でき、とても良かったと思っている」「時短やパートの先生が多く感じられ不安。」「1年に1回くらいは試食させて頂き、硬さや大きさ、味付けなど確認し家で参考にしたい(未満児のうちだけでも)」という意見があった。

